

## 要請番号 (JL63022B04)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モザンビーク	A101 コミュニティ開発	20～45歳のみ	個別	交替3代目	2年	・ 2023/4 ・ 2024/1



## 【配属機関概要】

## 1) 受入省庁名 (日本語)

外務・協力省

## 2) 配属機関名 (日本語)

国際連合世界食糧計画モザンビーク事務所

## 3) 任地 (マプト市) JICA事務所の所在地 (マプト市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

## 4) 配属機関の規模・事業内容

国連機関である世界食糧計画(以下WFP)モザンビーク事務所は、1977年に設立され、飢餓の減少、食糧安全保障、栄養改善に取り組んでいる。モザンビークでは、2019年のサイクロン・イダイをはじめとする自然災害や干ばつが頻発しており、WFPは被災地域での栄養強化食品の配布や、同国北部での紛争・治安悪化による避難民に対しての食料支援等を行っている。また、農家の生産性を向上させ、生産量を増やし、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させる、持続可能な食料生産システムの確保及び、強靱(レジリエント)な農業支援にも取り組んでいる。

## 【要請概要】

## 1) 要請理由・背景

WFPモザンビークでは、農作物の生産性向上による生産量増加、持続可能な食料生産システムを確保できるよう、小規模農家の支援を行っており、推定30%と見積もられている収穫時・収穫後ロスの改善に取り組んでいる。また、女性農家の所得向上、子供たちの栄養改善、必要なサービスや市場への平等なアクセスの確保が課題であるとし、WFPは農業・農村開発省及び地方組織と共にこれらの支援に取り組んでおり、このような状況の中、草の根レベルで活動ができる隊員の要請がなされた。2022年3月からJICA海外協力隊1名(コミュニティ開発)が活動中である。

## 2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

WFPチームメンバー、農村開発省傘下の州及び郡の機関と協力し以下の活動をする。

- より効率的なマーケットへのアクセス、持続可能な食糧の取り扱い方法、バランスのとれた食糧消費パターンについての調査及び評価・モニタリングを行う。
- 1.の課題解決への提言や、ボランティアの業務範囲内で、各地から集まるデータの分析も期待されている。

## 3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

パソコン、フィールド調査時の携帯電話、机、椅子、プリンター、スキャナーなど。

## 4) 配属先同僚及び活動対象者

## 【配属先同僚】

所長:女性 40代、副所長:男性 40代

主たるチームメンバー 5名 20-30代  
【活動対象者】  
対象地域・対象者は派遣後に配属先と話し合ってから決める。

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
英語	ポルトガル語	英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（ ） [学歴]：（修士） 備考：同僚と同等の学歴が必要なため  
[性別]：（ ） 備考： [経験]：（ ） 備考：  
[汎用経験]：  
・フィールドワーク（現地調査、研究）経験  
・食生活改善や栄養に関する知識や経験  
[参考情報]：  
・プロジェクト運営経験(なるべく)

任地での乗物利用の必要性  
不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（10～35℃位） [電気]：（安定）  
[通信]：（インターネット可 電話可） [水源]：（安定）

【特記事項】

モザンビークの公用語はポルトガル語であるが、国連機関に配属となることから、機関内での業務(報告書やミーティング)では英語が必須である。

【類似職種】